

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【公開番号】特開2005-131296(P2005-131296A)

【公開日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2005-020

【出願番号】特願2003-373658(P2003-373658)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 E

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月17日(2008.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者による操作に応じて遊技開始指令信号を出力する遊技開始指令手段と、

前記遊技開始指令手段から出力された前記遊技開始指令信号を検出したことに基づいて所定の役を当選役として決定する当選役決定手段と、

前記遊技開始指令手段から出力された前記遊技開始指令信号を検出したことに基づいて遊技に必要な複数の識別情報を変動表示する変動表示手段と、

遊技者による操作に応じて停止指令信号を出力する停止指令手段と、

前記当選役決定手段が決定した当選役と前記停止指令手段から出力された前記停止指令信号を検出したことに基づいて前記識別情報の変動表示を停止させる停止制御手段と、

前記停止制御手段が停止させた前記変動表示手段の停止態様が所定の入賞態様である場合に、遊技者に遊技価値を付与する遊技価値付与手段と、

前記当選役決定手段が投入した遊技価値と同等の遊技価値を自動投入することで再遊技が行われるリプレイ役を当選役として決定する確率が、第1の確率である第1確率状態と、前記確率が前記第1の確率よりも高い第2の確率である第2確率状態との間で、確率状態を移行させる確率状態移行手段と、

を備え、

前記確率状態移行手段は、前記第2確率状態において前記当選役決定手段が特定役を当選役として決定し、該特定役に係る識別情報の組合せが表示されたことを条件に、前記第2確率状態から前記第1確率状態に確率状態を移行させることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記停止制御手段は、前記特定役が当選役として決定された場合であっても、該特定役に係る識別情報の組合せが表示されない制御を実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0008】**

(1) 遊技者による操作に応じて遊技開始指令信号を出力する遊技開始指令手段と、前記遊技開始指令手段から出力された前記遊技開始指令信号を検出したことに基づいて所定の役を当選役として決定する当選役決定手段と、前記遊技開始指令手段から出力された前記遊技開始指令信号を検出したことに基づいて遊技に必要な複数の識別情報を変動表示する変動表示手段と、遊技者による操作に応じて停止指令信号を出力する停止指令手段と、前記当選役決定手段が決定した当選役と前記停止指令手段から出力された前記停止指令信号を検出したことに基づいて前記識別情報の変動表示を停止させる停止制御手段と、前記停止制御手段が停止させた前記変動表示手段の停止態様が所定の入賞態様である場合に、遊技者に遊技価値を付与する遊技価値付与手段と、前記当選役決定手段が投入した遊技価値と同等の遊技価値を自動投入することで再遊技が行われるリプレイ役を当選役として決定する確率が、第1の確率である第1確率状態と、前記確率が前記第1の確率よりも高い第2の確率である第2確率状態との間で、確率状態を移行させる確率状態移行手段と、を備え、前記確率状態移行手段は、前記第2確率状態において前記当選役決定手段が特定役を当選役として決定し、該特定役に係る識別情報の組合せが表示されたことを条件に、前記第2確率状態から前記第1確率状態に確率状態を移行させることを特徴とする遊技機。

【手続補正3】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0009****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0009】**

(2) (1)に記載の遊技機において、前記停止制御手段は、前記特定役が当選役として決定された場合であっても、該特定役に係る識別情報の組合せが表示されない制御を実行可能であることを特徴とする遊技機。